令和６年度第２回　東温市地域自立支援協議会 専門部会活動報告資料

子ども部会

障がい又は発達に心配のある児童及び家族に対する支援等に関することについて協議する部会

＜令和６年度活動方針＞
・保護者に対して悩みなどを話す場の提供をする。
・保護者へ研修を行うことにより、情報発信の場を確保する。
・障がい児や家族が抱える地域の課題をあげ、問題提起して部会にて事例検討会で話し合い解決に向けて共に考えていく。

小部会（保護者部会）

※特別支援学校や特別支援学級に通う子どもの保護者および発達に不安な子どもをもつ保護者が対象

○第１回　令和６年５月１４日（火）１３：３０～１５：００
講演会「不登校・ひきこもりの支援」～問題の理解とＣＲＡＦＴの紹介～
講師：もりさわメンタルクリニック　院長　森澤　巌氏

○第３回　令和６年７月２９日（月）１０：００～１２：００
「きょうだい児のイベント」※東温市ピアサポート推進事業とのコラボ企画
講師：認定 NPO 法人ラ・ファミリエ　理事　西　朋子氏・越智　彩帆氏

○第４回　令和６年９月２５日（水）１０：３０～１２：００
講演会「防災について～大洲市の NPO 法人歩の取り組みについて」
講師：NPO 法人歩　理事長　白石　美月氏
・西日本豪雨水害後の被災状況、どのように復興を遂げたのか、そして現在の取り組み等について講演いただいた。
・実際に被災した経験・体験談は具合的でとても参考になった。また、大洲市の医療的ケア児保護者の声をもとに、課題等について自立支援協議会で取り組んでいる具体例なども伺うことができた。

○第５回　令和６年１１月２９日（金）９：３０～１１：３０
講義「障害年金の書類の書き方について」
講師：社会保険労務士法人ひなそよ
代表社会保険労務士　鈴木　正幸氏
・「社会制度」、「社会保障」、「障害年金の生活支援」等について、講義をしていただいた後、茶話会を行った。
・参加された保護者・支援者からは、「申請する際のコツが学べてよかった」「先生の経験に基づいたケース毎の話が分かりやすかった」「来年度も開催してほしい」等の声をいただいた。

○第６回　令和７年３月６日（木）１５：００～１６：３０
「医療的ケア児保護者交流会・座談会」
・市内在住の医療的ケア児の保護者より「市内に住む医療的ケア児の保護者の方と交流する機会がないので、つながれる場所がほしい」という声があり、年度内に医療的ケア児保護者交流会を開催する予定である。併せて「医療的ケア児の災害時の避難について」をテーマに、愛媛県小児科医会会長の井上哲志先生、市役所職員、相談支援専門員等にも参加いただき、座談会も開催する予定である。

部会

○第２回　令和６年７月１１日（木）１０：００～１１：３０
事例検討会「担当ケースを例とした保護者の就労継続支援について」
事例提供者　日本訪問看護財団　松山相談支援センター
相談支援専門員　西村　幸氏
・「発達・知的に問題なく重度心身障害児ではない児の保護者が東温市で離職することなく安心して子育てができるよう、市内で医療的ケア児を受け入れてくれる園ができるよう体制を整え、予算化してもらえたら」という意見があった。

○第７回　令和７年３月１３日（木）９：３０～１０：３０
「今年度の活動報告・来年度の活動について」開催予定

＜子ども部会から提案・全体会に助言を求めたいこと等＞
・前回の自立支援協議会全体会で医療的ケア児の入園について、来年度から開始できるようご発言いただいた東温市医師会会長の中野敬先生をはじめ、実現に向けてご尽力いただいている関係者の皆様に謝意を申し上げます。
・災害時における避難について、福祉避難所等への直接避難できる仕組みや体制を整えて欲しい。
・子ども部会が行っている活動の中で、形になっている事業（例えば、障害年金の書類の書き方）について今後は、行政や基幹相談支援センター等へ事業実施主体を変更していきたい。

成人部会

障がい者の生活、就労支援等に関することについて協議する部会

＜令和６年度の方針＞

・事業所見学の年間スケジュールの更新・利用の検討、市内の障がい者に必要な課題を部会員から抽出し検討する。

〇今年度の方針

事業所見学の年間スケジュールの更新・利用の検討、市内の障がい者に必要な課題を部会員から抽出し検討する。

〇開催日

●第１回　令和６年８月２３日（金）１０：００～

＜協議内容＞

①令和５年度成人部会報告

②就労事業所の見学年間スケジュールとガイドブックの更新について

・事業所の見学日を予め設定することについて事業所の負担はないものの、各自で問い合わせて見学を行っているので、オープンキャンパスのように日にちを決めてやる必要はないと感じているとの意見あり。

・就労支援ガイドブックは、有用性が高く、定期更新を望む声が多い。

・ガイドブックの掲載内容の追加やＷＥＢサイトへのＱＲコードの追加などを望む声も聞かれた。

・どちらも小部会の開催時に意見を募ることとなった。

③今後の成人部会の活動について

現状と課題などについてのアンケートを部会員に郵送で送り、意見を求める運びとなった。

★小部会（就労部会・くらしを支える部会 合同開催）

開催日：令和６年１２月２３日（月）１０：００～

＜内容＞

・第１回の成人部会の内容報告と部会員から収集したアンケートの集計結果をもとに、事業所視点からの障害者支援に関する現状や課題について意見交換を実施。

・マンパワーの不足や利用者確保、工賃のやりくりの悩みなど、参加者同士での活発な情報・意見交換が行われた。

・成人部会の議題でもあった、就労ガイドブックの発行の継続、事業所見学スケジュールの配布についても、小部会としての意見がまとまる。

・今後、成人部会に対し意思表示を行うこととした。

●第２回　令和７年１月１４日（火）１０：００～

＜協議内容＞

①事業実施状況報告（障害者施設東温）

日中支援型のグループホーム障害者施設東温より、事業実施状況の報告をいただく。利用者が地域において共同して自立した生活を営むことができるように、支援を継続しており、季節ごとの行事やレクリエーションも展開。

日中活動として就労継続支援事業所等との連携も密に行っている。また、虐待防止対策として、委員会が設置され開催されている。

②アンケートの集計結果報告

第１回目の部会後に部会員より集めたアンケートの集計結果を報告。今後の部会活動として、他の専門部会や事業所間との情報交換の機会を設けて欲しいといった要望が多かった。

地域に障害福祉サービスや人的資源が不足している声が多く聞かれたこと、部会として地域や当事者のニーズ把握の方法が不足しているといった声があることを報告。

③小部会の報告

１２月２３日に開催した『暮らしを支える部会』と『就労部会』の小部会の報告を行う。

④就労支援ガイドブックの発行について

共通項目の見直しを行い紙媒体での発行継続を予定。来年度、内容の見直しを行うことなった。

東温市のＷＥＢサイトでは、当ガイドブックのデータに辿り着くことが難しい状況である。必要な情報に辿り着きやすいようサイト内の見直しを行うこととなった。

⑤事業所見学スケジュールの配布について

見学スケジュールの配布については、来年度より廃止する。ただし、見学の相談がスムーズに行えるよう、事業所ガイドブックに連絡先リストや、見学に必要な準備物等の掲載を検討することとなった。

⑥今後の取り組みについて

来年度は、就労ガイドブックの内容の見直しに加え、部会員から集めたアンケート結果から取り組みたい内容を決めていくことになった。

今回、課題の洗い出しまでには至らなかったため、次回開催時には、部会員からの意見をまとめ取り組み事項について決定する。

〇成人部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等

・(小部会からの意見) 現状、総合支援法の施設やグループホームでは『看取り』)までの対応は困難。介護保険施設への移行を早期の段階で進めたいと考えるが、介護保険施設との連携のしくみが未成熟であることや、利用者負担額の増加が移行のハードルを高くしているように思う。総合支援法の施設等での看取りに対する人材確保、あるいは移行時における経済的な支援や救済策が必要ではないか。

相談支援部会

相談支援専門員の育成及び資質の向上、相談支援体制や地域におけるネットワークの構築に関することについて協議する部会

＜令和６年度の方針＞

・障害福祉サービス等報酬改正内容について勉強会を開催し、サービスの適正化や体制整備、相談支援専門員のスキルアップを図る。
・特別支援学校や介護保険の介護支援専門員、サービス管理責任者など各所とのより良い連携を図るための交流会や勉強会を開催し、見えてきた課題を共有し、地域の課題とともに今後の部会の動きについて考える。

【開催日・内容】

第１回 令和６年４月２３日（火）９：３０～１１：００
●令和６年度障害福祉サービス等報酬改定の勉強会
第２回 令和６年６月１２日（水）９：３０～１１：００
●教育と障がい福祉との連携について
第３回 令和６年８月２０日 （火）９：３０～１１：００
●介護支援専門員との連携についての打合せ
第４回 令和６年１０月３０日（水）９：３０～１１：００
●サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者との相談支援専門員との連携
・相談支援専門員側としては、必要に応じ随時連携が取れており、普段からあまり困り感はないが、サービス事業所から「もっと来て欲しい」という声を聞くことはある。直接事業所に伺うことで、電話ではわからない情報が得られることや、ケース以外のことでの情報交換やコミュニケーションがとれることもあり有用であるとの意見が聞かれた。
・児童が対象の事業所では、今年度の法律の改正により個別支援計画を５領域を網羅したものとする必要があるので、相談支援専門員も５領域について勉強していったほうがいいだろうという意見あり。
●１２月の部会（介護支援専門員との連携）の打合せ
・１０月１７日に開催された「介護のわ」には、市内の介護支援専門員１８名、相談支援専門員７名が参加。アクティブラーニング方式で行った会が介護支援専門員に好評だった。障害福祉サービスから介護保険へ移行する際の手続きやケアプランへ障害福祉サービスを位置付けることなど、具体的な実務についての不安の声が多く聞かれた。１２月の部会ではグループワークで事例を通して制度や手続きが学べる場を用意することとなった。
・事例検討『居宅介護事業所にサービス提供を断られ、他の事業所を探すがみつからない。他にも余暇として移動支援を希望されているが、移動支援だけを受けてくれる事業所がなくほかに代替手段や方法はないか』というケースについて事例検討を実施。

第５回 令和６年１２月１７日（火）９：３０～１１：００
●介護支援専門員と相談支援専門員との連携
・模擬事例（障害福祉サービスを利用中の利用者が６５歳を迎え介護保険サービスに移行する事例）を用いたグループワークを実施。グループは相談支援専門員と介護支援専門員が混在した編成とし、与えられた事例を通じて、介護支援専門員と相談支援専門員の相互の理解、制度や連携のポイントについての理解が深まった。
・障害福祉サービスの利用者が６５歳を迎え、介護保険へ移行するにあたり、両制度を併用する状況では担当をする介護支援専門員が制度や手続きの違いに不安を感じており、今後も勉強会の開催の希望があった。

第６回 令和７年２月２１日（金）９：３０～１１：００（開催予定）
●各所との連携について（本年度の取り組みの振り返りと来年度の予定）

＜相談支援部会からの提案・全体会に助言を求めたいこと等＞
① 全国的な人材不足が、東温市でも見られている。人材不足への対応を行政としても何か取り組めないかを一緒に考えて欲しい。
② ６５歳移行期や複数の制度によるサービスの利用などわかりにくい面に対して、制度や手続きを明確にするための「フローシートが欲しい」という声が聞かれるので、今後勉強会等を通してお互いが分かり合える機会やフローシートの作成を行っていくために何かいい案はないか。
③ 自立支援協議会見える化のためのＷＥＢサイトを作成してもらっているが、知りたい情報を見つけるのが難しいので、今後何かいい情報発信の方法はないか。
④ 制度があっても人材不足等で利用できないサービスもある。特に地域生活支援事業では、１０年以上報酬が変わっておらず、国のサービス費の改定と同様、報酬改定を検討する必要があるのではないか。
⑤ 「訓練等給付」については認定調査のない市町もあり、迅速なサービス利用につながっている。認定調査を省くことで、調査員と利用者双方に利点があると思われるので、今後検討をして欲しい。